

岐阜県鉱工業指数 (平成21年11月分)

生産指数 前月比0.6%の上昇

1 概況

平成21年11月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、電子部品・デバイス工業、金属製品工業等が低下したものの、化学工業、輸送機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は0.6%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷指数も2.4%増と3カ月連続で上昇し、在庫指数は0.3%減と前月に引き続き低下した。

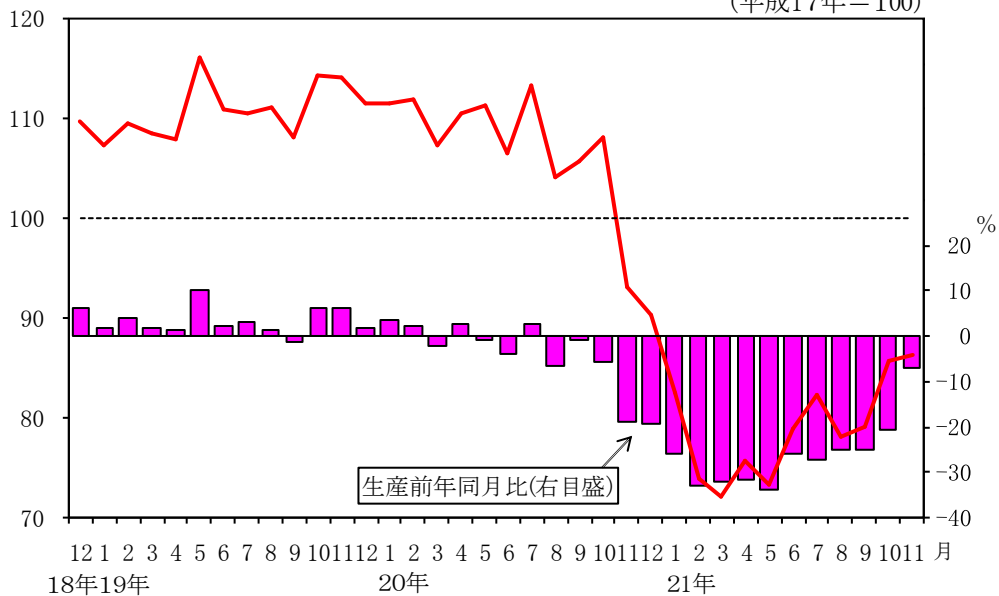
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は7.3%減となり、16カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	86.2	0.6	89.7	△ 7.3
出荷	84.6	2.4	89.3	△ 8.7
在庫	109.5	△ 0.3	109.5	△ 7.5

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数…季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数…調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、ボルト・ナット、軽金属板製品（産業用品）等が増加したものの、スチール又はステンレスシャッター、橋りょう等が減少したため、4.6%減と低下に転じた。また、出荷は4.4%減、在庫は11.7%減と、ともに低下に転じた。

機械工業の生産は、電子回路基板、金型等が減少したものの、乗用車がデー、携帯電話等が増加したため、1.6%増と6カ月連続で上昇した。また、出荷は4.6%増と前月に引き続き上昇し、在庫は2.8%減と低下に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、特殊炭素製品、遠心力鉄筋コンクリート製品等が増加したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したため、0.1%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は1.3%減、在庫は0.9%減と、ともに前月に引き続き低下した。

化学工業の生産は、無水酢酸、触媒（自動車排気ガス浄化用）等が減少したものの、医薬品が増加したため、24.9%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷も24.7%増と3カ月連続で上昇し、在庫は7.8%減と前月に引き続き低下した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）、プラスチック製継手等が減少したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、2.2%増と上昇に転じた。また、出荷も2.5%増と上昇に転じ、在庫は0.7%減と前月に引き続き低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	89.8	△ 4.6	△ 6.2	90.6	△ 4.4	△ 2.6	65.1	△ 11.7	△ 26.1
機械工業	83.3	1.6	△ 15.9	81.6	4.6	△ 16.3	126.5	△ 2.8	△ 15.6
一般機械工業	59.2	3.3	△ 35.0	68.2	15.2	△ 28.3	-	-	-
電子部品・デバイス工業	81.7	△ 12.4	△ 2.4	83.4	△ 12.3	△ 2.7	-	-	-
輸送機械工業	106.5	10.1	△ 5.1	98.9	7.6	△ 4.6	-	-	-
窯業・土石製品工業	68.9	△ 0.1	△ 10.6	67.9	△ 1.3	△ 10.5	87.1	△ 0.9	△ 25.6
化学工業	130.6	24.9	23.0	124.6	24.7	19.8	99.7	△ 7.8	△ 2.4
プラスチック製品工業	95.7	2.2	0.4	101.2	2.5	△ 0.5	84.7	△ 0.7	△ 16.2

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

